

ポラン



第113号 平成28年3月18日
 埼玉県比企郡ときがわ町桃木452
 はなぞの保育園内
 子育て支援センター「ときがわ」

☎ 0493(65)2655



“安心ということ”

「ウ冠」の下に「女」と書いて「安」と読む。家の中に女性がいることが安心なのだ。しかし、今は女性も外に出て働く時代。では、家の中に女性がいなくて安心がないのだろうか。

私にとって「仏様」の存在はかけがえがない。私が仏様にお参りしている時も、仏様のことを忘れていた時も、いついかなる時も、仏様は、そこにいらっしゃる。だから、私は安心していただける。

昔、あるお母さんから相談を受けたことがある。子どもの世話を焼くと「うるさい。」といわれ、手を出さずにいると「どうして面倒を見てくれないんだ。」と怒られるという。「私、どうしていいかわかりません。」その方は専業主婦であった。

今ならわかる。子どもはいつだって母にそこにいてほしいのだ。母がそこにいてくれさえすれば、子どもはきっと安心する…。先述の子どもは、母がそこにいるという実感が乏しかったのだろう。

母がそこにいるという実感を子どもが持てることができれば、母がそばにいようと、働きに出ていようと、子どもは安心していただけるのだろう。

柳瀬 寛洲



4月の予定

月	火	水	木	金	土
				1 開放・相談	2 開放・相談
4 開放・相談	5 開放・相談	6 開放・相談	7 入園式 (解放なし)	8 開放・相談	9 開放・相談
11 開放・相談	12 開放・相談	13 開放・相談	14 開放・相談	15 ポランひろば (パネルシアター)	16 園児交流会 (解放なし)
18 開放・相談	19 開放・相談	20 開放・相談 ほのぼの カンガルー	21 開放・相談	22 ポランひろば (新聞紙あそび)	23 開放・相談
25 開放・相談	26 開放・相談	27 開放・相談 ほのぼの カンガルー	28 開放・相談	29	30 開放・相談

支援センター 利用にあたって

新年度になります。
みなさん4月になったら、28年度登録をしてくださいね。
9:00より開放しています。
ひろばは、第3週より始めます。

- ・ポランひろば
10:30～
- ・ほのぼの
カンガルー
1:30～

みんなのひろばは
5月より開催します。

<アンケートより抜粋>

皆さんからこそだて支援センター“ときがわ”を利用しての1年の感想を寄せていただきました

あそび・催しについて

- ・色々なわらべうたが覚えられるので嬉しい。気分転換に楽しい。
- ・月曜日の散歩 友達が一緒に歩いてあそび 楽しそうだった。
- ・こんにやく座のコンサートに初めて参加し、1才8ヶ月でもしっかり聞けていました。
- ・珍しいおもちゃに目がキラキラしている。

友だち・親ごころ

- ・元気な息子を遊ばせてもらって助かった。先生も親切で一度遊びに行っただけで名前をおぼえてもらえたことに感動しました。
- ・たくさんの親子との出会いができてよかった。
- ・毎日気軽にいく事が出来て親も子も安心して遊べ、とても助かっています。
- ・他の子と触れ合っているととてもいい刺激を受けています。いろいろなお母さんとお話できてリフレッシュできています。
- ・落ち着いて、子どもと過ごすことのできる貴重な場所だなあと感謝しています。
- ・第3子出産でしばらくこれなかった。以前はじっとしていられず、ママから離れられなかったのに久々に参加した時に、きちんと正座して前に座って参加できたことに感動しました。共に遊んだ時間は大切だなと感じました。

絵本紹介



平山文三ぶん
平山和子え
福音館書店

愛情にかたちを与えると、きっと、この手のひらになるだろう。そんな手のひらが、あつあつの炊(た)けたご飯をしゃもじですくい、手のひらにのせ、まんなかいうめぼしをうめて、ぎゅっ、ぎゅっとおにぎりをにぎっていきます。

描かれているのは、実はおにぎりではなくて、おにぎりをにぎる母の手であり、愛情です。そんな手のひらでにぎるおにぎりは、湯気が立って、甘い香りがして、ごくんと唾を飲み込んでしまいます。

子どもって、ごはんといっしょに愛情を食べて育っていくものなのですね。

柳瀬寛洲

わらべうた

おくぼんじょ (たかいたかい)



☆ひとりひとりで・・・

しゃがんで頭の上で手を組み、少しずつ大きくなるように歌に合わせて立ち上がる。

☆親子で・・・

小さな子を向かい合わせてだきあげ、徐々に高くして最後はたかいたかいをする。



編集後記



今年はいつになく春が早く訪れていた気がします。

今年度もいろいろなひろばでたくさんの出会いがありました。皆さんとお会いでき、つながりがもてたことに本当に感謝します。

支援センターでの出会いがよりいっそう広がっていくといいですね。

また新たな出会いが待っています。親子の距離を少しずつとりながら成長する姿を楽しみたいです。

五十嵐民江